

臨床研究に関する公開情報

2023年1月30日

横浜医療センター消化器内科では、下記の研究を行います。この研究は条件を満たす患者さん全員を対象といたします。もし、この研究への参加を希望されない場合には、対象とはいたしませんので、お問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

■ 研究課題名

COVID-19による自粛が消化器癌に及ぼした影響についての研究

■ 研究の対象となる方

2015年1月1日から2023年12月31日までに当院で消化器癌の診断を受けた患者さん

■ ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則り、個人情報 は 厳重に保護した状態で行います。

■ 研究の概要

研究の目的及び意義

COVID-19による自粛にて病院受診の機会が減少しました。その影響で癌の発見が遅れ、診断時の病期が進行した可能性があると考えられます。そこで2015年から2019年までの癌データと2020年以降の癌データを比較することで自粛が消化器癌に及ぼした影響を確認します。2020年度以降の消化器癌の診断時の病期が以前のデータと比べて進行していれば病院受診の利便性や健康診断の重要性を再確認できるのでないかと考えられます。

研究の期間

倫理審査委員会承認日～2025年12月31日

研究の方法

診療記録より全消化器癌の情報を集めます。2015年から2019年までの癌データと2020年以降の癌データを比較することで自粛が消化器癌に及ぼした影響を確認します。比較するデータとしては部位別の癌の総数、発見時のStage分類、発見契機、始めに選択された治療方法等です。また消化器内科の受診者数、新患者数、紹介数も比較し2020年度以降に変化があったか確認します。

個人情報等の取り扱い

電子カルテシステムから抽出されたデータに、電子カルテを直接閲覧して得られた追加データを入力したのち、完全匿名化して解析を行います。

利益相反に関する状況

開示すべき利益相反は特にありません。

研究に関する情報公開の方法

医学に関する学会等にて発表し、最終的に論文とします。その際、使用するデータは個人が特定されない方法・内容に限るものとします。

■研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

本研究は既存の診療録情報を利用した後方視的研究であり、対象者への文書や口頭によるインフォームドコンセント（説明を受け納得したうえでの同意）取得は困難であるため、相談に対しては個別に対応します。お問い合わせ先までご連絡ください。

■研究代表者および研究分担者

研究代表者：横浜医療センター 消化器内科 部長 野中敬

研究分担者：横浜市立大学 肝胆膵消化器病学 大学院 葛生健人

横浜市立大学附属病院 肝胆膵消化器病学 講師 日暮琢磨

■お問い合わせ先

横浜医療センター 消化器内科 野中敬

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2

Tel045(851)2621（代表）※平日 9時 00分～17時 00分